

報道関係者各位

【Facebook Japan と認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえによる
共同プロジェクト第二弾】

こども食堂と地域コミュニティをつなぐ 『みんなの絵本ボックス』提供開始

Facebook Japan は 12 月 16 日、全国のこども食堂の支援を行う「認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」との共同で立ち上げた「Re-labeling プロジェクト」の第二弾の取り組みとして、こども食堂と地域コミュニティの接点を生み、コミュニケーションの促進する仕掛け「みんなの絵本ボックス」の提供を開始します。

Meta は、持続的な社会の実現のため、子どもたちを含めた地域コミュニティの健全な成長のサポートに取り組んでおり、2021 年 9 月の SDGs 週間に「Re-labeling プロジェクト」を発表いたしました。本プロジェクトは、SDGs に関連する活動を行う Facebook コミュニティと共創しながら「こども食堂は貧しい子どもだけが行く場所だ」といった誤ったラベル（イメージ）をはがし、地域の交流拠点や多世代交流の場といった正しいイメージを広げるきっかけづくりを目的とする活動です。



■「みんなの絵本ボックス」とは

「Re-labeling プロジェクト」第二弾の取り組みとして発表した「みんなの絵本ボックス」は、こども食堂と周辺地域を「読み終わった絵本」でつなぐ、交流のきっかけづくりを目的とした、こども食堂運営者向けのダウンロードキットです。任意のサイズに印刷した「みんなの絵本ボックス」サインを、お手持ちの空き箱などに貼り付けるだけで、「地域住民や子どもたちに向けて地域の読み終わった絵本を集め、絵本を持って帰ることができる箱」にすることができ、地域住民がこども食堂に関わるきっかけを提供することができます。



上：「みんなの絵本ボックス」通常版
下：「みんなの絵本ボックス」ブランク版
(こども食堂が自身でルールをカスタムすることも出来ます)

「みんなの絵本ボックス」は [Meta のニュースルーム](#) や [Meta 日本公式 Facebook ページ](#) からダウンロードいただけます。

■「みんなの絵本ボックス」開発の背景

こども食堂の多くは、SDGs ゴール「住み続けられるまちづくりを」で目指されるような地域での多世代交流を活性化させる役割を持つ一方、貧困対策としての役割のみに注目が集まりやすいという課題を抱えています。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響で、こども食堂内への入場に人数制限をかけるなど、こども食堂と地域の交流の機会を作りにくい状況にあります。Meta は、人と人をつなぐテクノロジーを提供しているグローバル企業として、こども食堂の多面的な役割の認知獲得や、こども食堂と地域の交流の機会づくりをサポートするため、今年9月に「Re-labeling プロジェクト」を立ち上げました。第二弾の取り組みとして発表した「みんなの絵本ボックス」によって地域での絵本の交換を促し、こども食堂と地域が支え合う関係に踏み出すための第一歩である「こども食堂に足を運ぶきっかけ」をつくり、こども食堂が抱える課題にアプローチします。

■「みんなの絵本ボックス」こども食堂コメント

こども食堂かくしょうじ（東京都調布市富士見町）／事務局 細川真彦

「こども食堂を運営する中で、子どもやその親の交流だけではなく、子どもたちと地域の方との交流の場にもしていきたいと考えています。『みんなの絵本ボックス』が、自分の住んでいる地域のこども食堂に足を運ぶきっかけがなかった方、こども食堂を気にかけてくれている方などが、こども食堂とのつながりをつくるきっかけになれば嬉しいことだと思います。」



こども食堂かくしょうじへの取材をご希望の方は、下記までお問合せください。

また [Meta 日本公式 Facebook ページ](#) では、地域と積極的に関わるこども食堂のコミュニティストーリーを伝える連載を行います（第一回：12月19日「こみゆ・キッチン天香」、第二回：12月26日「憩いの広場『ここまる』」）。

今後も Meta は、持続的な社会の実現のために「Re-labeling プロジェクト」を通して「こども食堂は貧困対策だけでなく、多世代交流が行われる地域に開かれたコミュニティの場」というイメージを広げるきっかけを作るため、活動を推進してまいります。

(参考情報)

■MetaのSDGsに関する取り組み

Metaは、人々が友達や家族とつながり、コミュニティに参加するためのテクノロジーを提供しています。全世界で毎月約36億人の利用者（2021年9月時点）にプラットフォームを提供するグローバル企業として、環境への配慮だけでなく、多様性を維持した包括的なコミュニティの形成や、全ての人が機会創出できる環境をつくることにも注力しています。

9月14日にはMetaとパートナーによるSDGsに関する取り組みをご紹介する特設ウェブサイト*をローンチしました。女性の起業を支援するプログラム「#SheMeansBusiness」やパートナー企業とSDGsゴール達成に取り組むプロジェクト「Project17」*など、様々なゴールに対する取り組みをご覧いただけます。

またMetaは2020年に、Facebook上に気候学センターを設置しました。

気候変動に関する政府間パネルや国連環境計画をはじめ、世界200以上の主要な気候関連組織が提供する事実に基づくリソースを提供することで、利用者の誰もが公平に正しい情報にアクセスし、自分の国の現状と必要なアクションについての理解を深め、日常生活の中で取り入れられる気候変動対策の方法を発信しています。気候学センターは2021年11月から、日本を含む100カ国以上に拡大されています。

* 英文のみで公開しています



■「Re-labeling プロジェクト」について

Metaは日本における持続的な社会のために、子どもの健やかな成長と子どもを取り巻く地域コミュニティや幅広い世代でサポートすることも非常に重要だと考えています。

「Re-labeling プロジェクト」は、SDGsに関するFacebook Japan独自の取り組みとして、「認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」と共同で2021年9月に立ちあげたプロジェクトです。

9月22日にはプロジェクト第一弾の取り組みとして、「NPO法人スーパーダディ協会」と、「こども食堂 waiwai」（品川区）の協力のもと、「リラベリング発想ワークショップ&デリバリー絵本展」を開催しました。スーパーダディ協会に所属する様々な「父親」との出会いや、絵本との出会いを通じて、子どもたちの経験の幅を広げることができました。

ワークショップ当日の様子はMeta日本公式Facebookページにて公開しています。

Re-labeling プロジェクト

